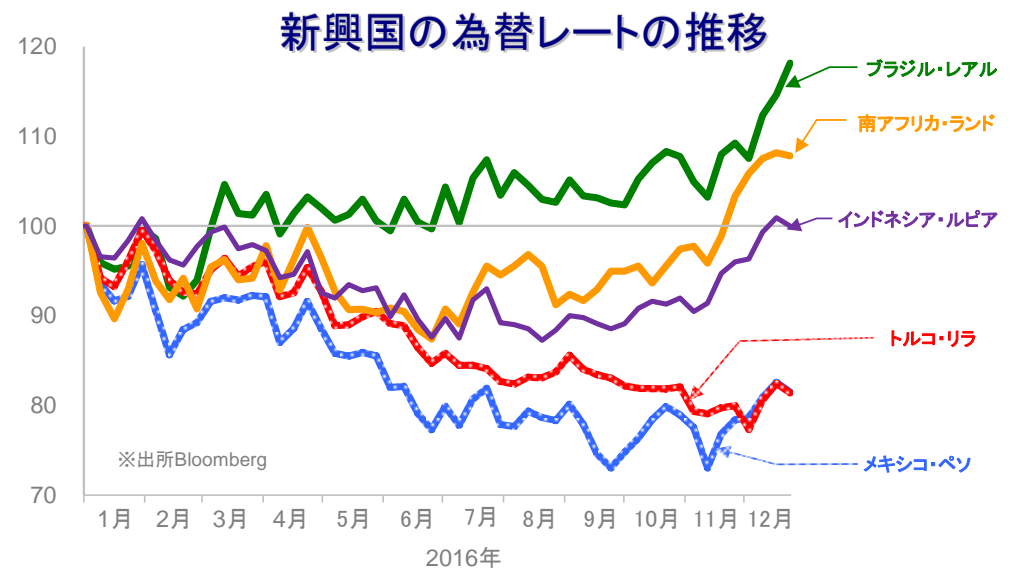
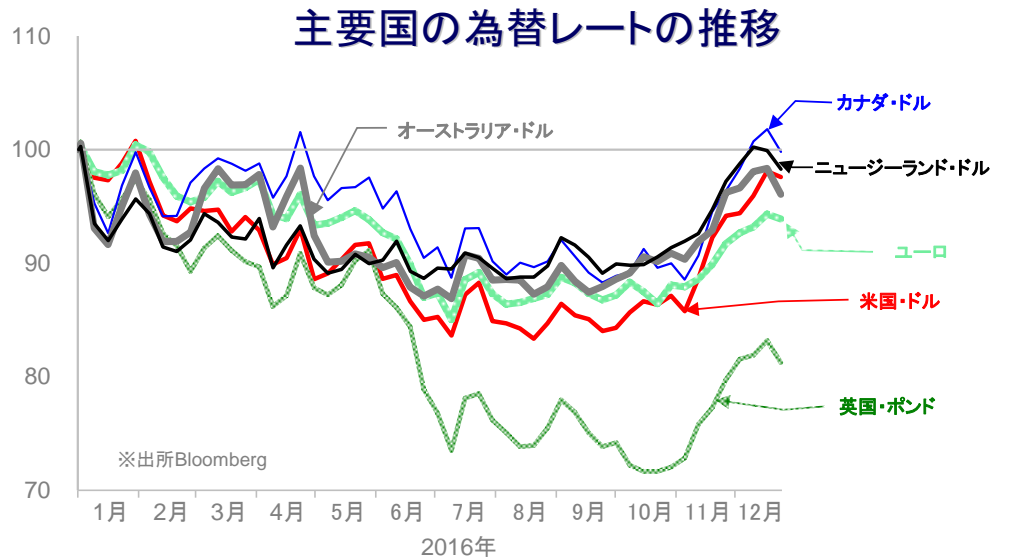


◎おもな出来事

・経済指標：米国では、7～9月期の実質GDP成長率(確定値)が改定値から上方修正された。11月の耐久財受注は前月比でマイナスとなった。・中央銀行：FRB議長は講演で、米国の労働市場は過去10年近くで最も力強いと述べた。日銀は現行の金融政策の維持を決定し、景気認識を上方修正した。日銀総裁は、「ゼロ%程度」としている長期金利の操作目標に関して上限でも下限でもない」と説明するとともに、最近の為替市場の動きについてはドル高との認識を述べた。トルコ中央銀行は3本の主要政策金利すべての据え置きを決定した。中国人民銀行は高利回りの財テク商品とされる「理財商品」を監視対象とすることを発表した。ブラジル中央銀行が発表した四半期インフレ報告書によると、インフレ率は2017年後半には目標中央値に近づき、今後の金融政策は緩和方向との姿勢を示した。・政府：日本政府がまとめた12月の月例経済報告では、景気認識の基調判断が上方修正された。イタリアでは、不良債権問題を抱える中、増資計画が失敗に終わった銀行に対する公的支援を行うことが閣議決定された。・その他：フランス司法当局はIMF専務理事の同国財務相在任中の問題に対し有罪判決を下したものの刑罰は課さなかった。なお、IMF理事会は同専務理事の続投支持を表明した。

✓外国為替相場の動き

外国為替相場は海外市場の休日を控え動意に欠ける展開の中、米国・ドルは日本・円に対してこれまでの上昇傾向が一服となり、他の主要国通貨に対しては小じっかり、新興国通貨に対しては高安まちまちとなった



✓外国為替市場

	通貨	12月23日	前回基準日	騰落率
		祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載		
主要国	米国・ドル	117.33	117.93	-0.51%
	ユーロ	122.66	123.22	-0.45%
	英国・ポンド	143.95	147.37	-2.32%
	カナダ・ドル	86.69	88.43	-1.97%
	オーストラリア・ドル	84.16	86.15	-2.31%
	ニュージーランド・ドル	80.68	82.04	-1.66%
新興国	ブラジル・レアル	35.878	34.810	+3.07%
	メキシコ・ペソ	5.696	5.772	-1.31%
	トルコ・リラ	33.507	33.945	-1.29%
	南アフリカ・ランド	8.376	8.404	-0.33%
	インドネシア・ルピア※	0.872	0.880	-0.91%
	中国・人民元	16.876	16.970	-0.55%

※100外貨あたりの対円レートを表示

※各為替レートの2015年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。